

# 出向く営農レポート

## 学校給食へ向けて ～足並みそろえて販路拡大～



尾張旭地域担当  
青木 崇史



尾張旭市給食センターの大澤先生を招き産地消への取り組みなどを説明いただきました。

生産者の「作りたい」と給食センターの「地元のものを使用したい」をマッチングさせ、計画的に継続・発展的な出荷をするため尾張旭市産直友の会の松原会長が中心となり発起することとなりました。

7月10日 尾張旭グリーンセンターで、尾張旭市の産直会員を対象に学校給食向けの説明会を行いました。  
参加者はベテラン出荷者から今回を機に始めたいという出荷者の18名です。

尾張旭市は名古屋市近郊でありながら農地に恵まれた立地条件で産直会員のモチベーションが高く、給食センターも地元で作られた農産物使用への意識が高いです。

生産者が協力し合い、給食に向けた明確な目標(出荷数量)を設定することで作付計画を作成し、



今後は個々の会員の技術を集結し、より良い野菜を届けられるよう栽培計画を立て、圃場巡視や目揃え会を実施していく予定です。  
昨今の異常気象や病害虫の被害など課題が多いですが、生産者とJAが一致団結して取り組んでいきます。



尾張旭市産直友の会  
松原八壽雄会長



## カメムシ大量発生注意!!

今年は愛知県農業総合試験場より、害虫であるカメムシの発生予察注意報が出ています。これらは暖冬の影響により、越冬した成虫が例年より多かったためと考えられています。被害に遭うのはイネだけでなく、野菜・豆類など幅広く被害に遭います。しっかりと対策を行い、大事な作物をカメムシから守りましょう。

### 多発しているカメムシ

#### ●ミナミアオカメムシ



成虫は1cm位の大きさで、全体的に緑色をしており、模様のある固体もあります。

#### ●カスミカメムシ類



アカスジカスミカメ アカヒゲホソミドリカスミカメ  
体長3~6mmと種類によって差があり、幅は1mmほどで、細長いです。

### 対策方法

#### イネ

水田周辺の畦畔や土手などのイネ科雑草に生息し、糞を吸汁して斑点米を発生させます。出穂前後の除草はカメムシを水田に追いこむので、出穂の2週間前までに除草を行いましょう。もしカメムシを確認した場合は穂揃期に薬剤防除を行い、その後も発生が多い場合は7~10日後に追加防除を行いましょう。

#### 主な防除薬剤

- ・スタークル/アルバリン粒剤 収穫7日前まで 3回以内
- ・スタークル豆つづ 収穫7日前まで 3回以内

#### 野菜・豆類

ナス科では茎や葉が加害されると加害部から先がしおれ、成長が阻害されます。また実を加害されると、凹凸が出来るほか変色や腐敗、異臭などを引き起こし食べることもできません。豆類では実の入りが悪くなり変形することがあります。

見つけたら捕殺することが大切です。ネットなどで物理的に遮断する方法もありますが、隙間のないようにしなくてはなりません。数が多いときは薬剤散布が効果的です。

#### 主な防除薬剤

- ・スタークル/アルバリン顆粒水溶液
- ・ペニカベジファルスプレー

※使用する場合、適用作物・使用回数・収穫前日数などラベルを必ず確認してください。